

食品中に含まれる放射性物質に関する リスクコミュニケーションについて①

資料2-3

令和3年4月22日(木)
内閣府 食品安全委員会
事務局 資料

1. 具体的な取り組み状況 (平成31年4月～令和3年3月末)

①関係府省と連携した親子参加型イベント・セミナー等の開催

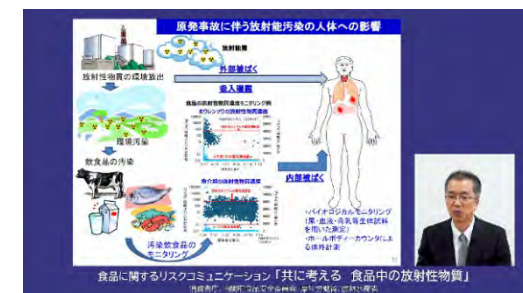
令和元年度は親子参加型イベントに出展、その中で小学生とその保護者に対し、食品中の放射性物質に関するセミナー等を実施。
(令和元年度 7/25京都府、8/1東京都、8/10宮城県)

令和2年度は親子で学べる特設ホームページを公開し、食品中の放射性物質を学ぶ動画と食品安全クイズコンテンツを配信。
(令和2年度 12/21配信開始)

②関係府省と連携して実施した意見交換会

令和元年度は一般消費者を対象に、『食品に関するリスクコミュニケーション「これまでを知り、これからを考える～食品中の放射性物質～」』をテーマに実施。
(令和元年度 10/21宮城、11/8福岡、11/22京都、11/27東京)

令和2年度は『食品に関するリスクコミュニケーション「共に考える食品中の放射性物質」』をテーマに、ウェブ会議システムやオンデマンド授業、動画配信により実施。
(令和2年度 11/6滋賀、12月東京、3/1～全国配信)



★意見交換会での感想

- 食品中の放射性物質に対する認識が180度変わった
- 生産者が努力している／新しいことにチャレンジしていることが分かった
- 生産者の努力によって、現在の安全が確保されていることが分かった／
- そのことを全国民が知っておかなければならないと思った
- 放射線をやみくもに怖がるのではなく、正しい知識をもって科学的な根拠によって自分で考えていくことが重要だと感じた

食品中に含まれる放射性物質に関する リスクコミュニケーションについて②

令和3年4月22日(木)
内閣府 食品安全委員会
事務局 資料

1. 具体的な取り組み状況（続き）（平成31年4月～令和3年3月末）

③地方公共団体との共催により実施した意見交換会

学校教育関係者等を対象に、食品のリスクは量の問題であること、基準値を下回る場合は心配する必要がないことを全国14か所で説明。令和2年度はオンラインで実施。

（令和元年度 8/6松山市、8/19那覇市、8/22大阪府、8/23和歌山県、8/29名古屋市、9/13山口県、
11/20鹿児島県、11/22熊本県、11/29高知県・高知市、1/24京都府）
（令和2年度 11/4石川県 11/11甲府市 1/22岩手県 3/24名古屋市）

2. 今後の取組について

- 引き続き、関係府省（消費者庁、厚生労働省、農林水産省、食品安全委員会）が連携し、「知ってもらう」「食べてもらう」について、幅広い世代を対象とした意見交換会やイベント等を開催する予定。
- 食中毒や食品添加物等をテーマに自治体や関係団体が要請する随時の講師派遣の際にも、食品の安全確保の基本的な考え方（食品のリスクは量の問題であり、基準値を下回る場合は心配する必要がないこと）をわかりやすく説明。